

令和4年3月17日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

「感染症発生動向情報（第10週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

【問合せ先】

大阪府医師会・地域医療1課
TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2022年 第10週（3月7日～3月13日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 減少」

第10週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は590例であり、前週比7.7%減であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.38、0.18、0.11、0.11、0.08である。

感染性胃腸炎は前週比5%減の469例で、中河内3.25、三島3.13、大阪市北部3.07、南河内2.88、大阪市南部2.53であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は57%減の22例で、北河内0.23、三島0.19、泉州・中河内0.15である。

咽頭結膜熱は5%減の21例で、大阪市北部0.93、北河内0.15、中河内・大阪市西部0.10であった。

RSウイルス感染症は6%減の16例で、中河内0.30、大阪市西部0.20、大阪市北部・大阪市東部0.14である。

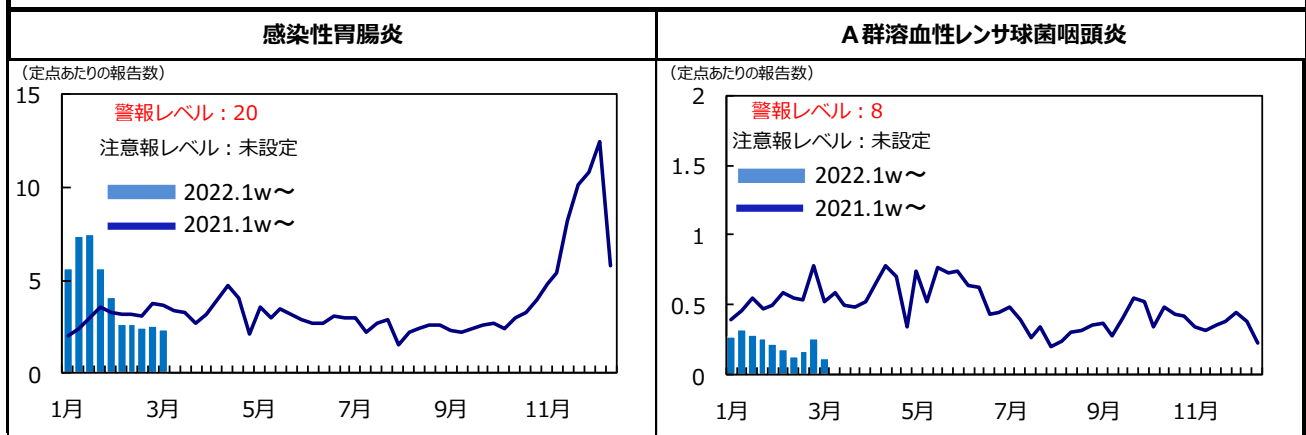


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2022年 第10週3月7日～3月13日）

第10週の順位	第9週の順位	感染症	2022年 第10週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2021年 第10週の 定点あたり 報告数	2022年第10週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.38	5%減	3.68	2歳_15%
2	3	突発性発しん	0.18	44%増	0.37	1歳_53%
3	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.11	57%減	0.53	4歳,20歳以上, _18%
4	4	咽頭結膜熱	0.11	5%減	0.14	4歳_48%
5	5	RSウイルス感染症	0.08	6%減	1.21	1歳_44%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.00	100%減	0.01	

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第10週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防の徹底を（マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避）

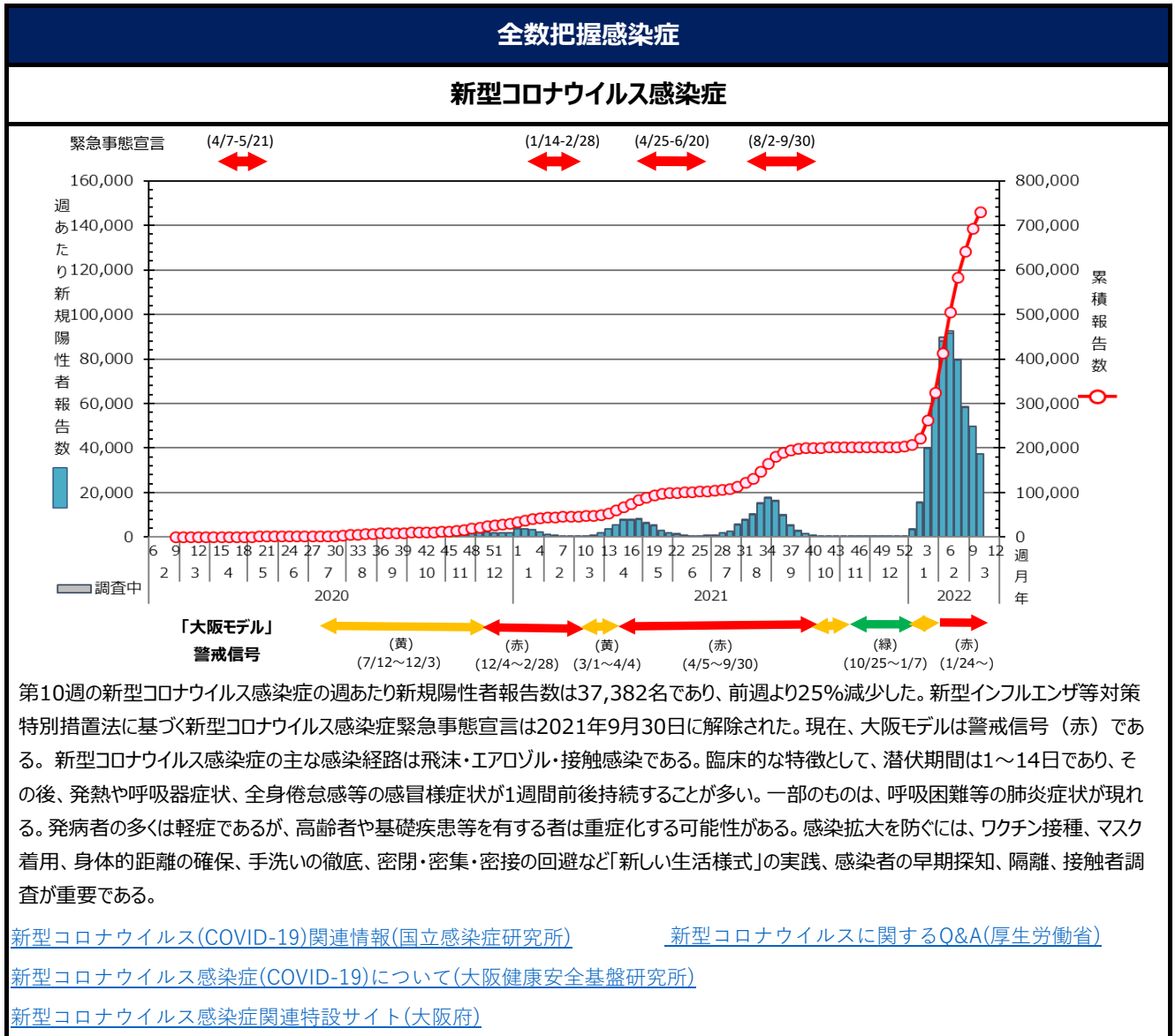


表 2. 大阪府全数報告数（2022年 第10週3月7日～3月13日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	細菌性赤痢	1							1		4
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2			1					1	14
5類感染症	アメーバ赤痢	1								1	11
	後天性免疫不全症候群	1								1	12
	梅毒	7							1	6	174
	麻しん（臨床診断例）	1	1								1
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	37,382	2020年1月以降累計								729,702
結核 (2022年1月分)	結核 新登録患者数：52名	(内 肺・喀痰塗抹陽性 23名) (府内累積報告数 52名、内 肺・喀痰塗抹陽性 23名)									

(2022年3月15日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2022年3月15日

(ブロック別)

第10週 2022年3月7日～2022年3月13日

ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部										
定点数	23	16	26	20	16	19	20	14	10	14	19	84	57	19	12	8	9	8	197		
眼 科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52		
基 幹	2	2	2	2	1	2	1	4				7	4	2	1	2	0	0	16		
疾病名	インフルエンザ	24	41	31	24	29	33	20	15	21	28	130	84	29	18	13	13	13	300		
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	0	△ 1	▼ 0	▲ 6	▼ 1	△ 2	0	▽ 2	△ 2	2	▽ 0	▼ 1	▽ 6	△ 2	△ 1	△ 1	0	▼ 0	16	5
	咽頭結膜熱	0	▽ 0	4	△ 2	▽ 0	▽ 0	0	▲ 13	△ 1	0	▽ 1	▽ 4	▲ 15	▽ 0	0	0	0	▽ 0	21	4
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	3	▲ 6	▽ 3	▽ 2	▽ 1	▽ 3	▼ 1	1	▽ 0	▽ 2	▽ 10	▽ 4	▽ 1	▽ 3	0	0	0	▽ 22	3
	感染性胃腸炎	▽ 46	50	60	65	▽ 46	▽ 36	42	△ 43	21	△ 12	48	163	124	▽ 36	△ 29	▲ 26	▽ 17	26	469	1
	水痘	1	△ 2	3	▽ 0	△ 1	0	2	△ 1	▲ 2	0	2	▲ 8	▲ 5	0	▽ 0	0	△ 1	▽ 0	▲ 14	
	手足口病	0	0	△ 1	▽ 0	▽ 0	0	0	0	0	△ 1	▽ 0	1	▽ 1	0	0	0	0	0	▽ 2	
	伝染性紅斑	△ 1	0	0	▽ 0	▽ 0	△ 1	0	0	▽ 0	0	0	▼ 0	▽ 0	△ 1	▽ 0	0	0	0	▼ 2	
	突発性発しん	▼ 1	△ 3	▲ 6	△ 8	▽ 3	△ 3	▲ 5	△ 3	▽ 0	△ 1	▽ 3	▲ 13	7	△ 3	△ 5	0	1	▲ 3	▲ 36	2
	ヘルパンギーナ	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
	流行性耳下腺炎	0	0	2	△ 1	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	5	
把握科 疾患	急性出血性結膜炎	0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▽ 0	▽ 0	
	流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	▽ 0	△ 1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
合計	▽ 49	61	82	85	▽ 54	▽ 43	53	63	27	▲ 16	▽ 57	206	163	▽ 43	38	▲ 27	▽ 19	29	590		
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
イ定	インフルエンザ	0	▽ 0	0	▽ 0	0	0	0	0	▽ 0	0	0	0	▽ 0	0	▽ 0	▽ 0	0	0	▽ 0	

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2022年9週(2月28日～3月6日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	202
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	3
腸管出血性大腸菌感染症	10
腸チフス	0
パラチフス	0
E型肝炎	5
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	1
Eキノコックス症	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
サル痘	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	0
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	0
デング熱	0
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	0
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ポツリヌス症	0
マラリア	0
野兔病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	14
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	7
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	0
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	23
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	1
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12
後天性免疫不全症候群	8
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	9
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	3
先天性風しん症候群	0
梅毒	110
播種性クリプトコックス症	3
破傷風	0
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2
百日咳	13
風しん	0
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	21	0.00
R Sウイルス感染症	626	0.20
咽頭結膜熱	328	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	799	0.25
感染性胃腸炎	11962	3.81
水痘	215	0.07
手足口病	198	0.06
伝染性紅斑	42	0.01
突発性発しん	760	0.24
ヘルパンギーナ	65	0.02
流行性耳下腺炎	63	0.02
急性出血性結膜炎	2	0.00
流行性角結膜炎	104	0.15
細菌性髄膜炎	4	0.01
無菌性髄膜炎	4	0.01
マイコプラズマ肺炎	2	0.00
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	1	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	3	0.01

定点数	報告数
インフルエンザ	4889
小児科	3119
眼科	692
基幹病院	477

2月(月報)	報告数	定点当り
性感染症・基幹定点		
性器クラミジア感染症	2201	2.24
性器ヘルペスウイルス感染症	616	0.63
尖圭コンジローマ	376	0.38
淋菌感染症	684	0.70
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1126	2.36
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	28	0.06
薬剤耐性緑膿菌感染症	11	0.02

定点数	報告数
STD	983
基幹病院	477

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。